

self-organizing-value-chain

自己組織化するバリューチェーン

1. 現在のvalue chainの問題点

例えば、レストランで顧客に料理が提供されるために必要な全工程を考えて欲しい。料理提供までの間には農作物の育成、輸送、保管、マッチング、調理といった価値変換が行われる。現代社会においては工程ごとの価値変換を担うサービスがあり、サービス提供を行う組織が工程ごとのニーズに合わせて自らの組織構造や価値変換方法を最適化することで生産性を最大化してきた。

しかし逆に、最適化されすぎた組織は役割の固定化につながる。役割の固定化がバリューチェーン全体の硬直化を引き起こし、バリューチェーン内の組織に所属する人が多様な成長機会を得ることを妨げ、社会全体の発展の妨げとなっていると考える。

2. 問題の解決方針

これまでバリューチェーンは画一化された製品やサービスを効率良く大量の顧客に提供するためにつくられてきた。しかし、個人単位のニーズに合わせた形で最適化されたサービス提供が行われるようにバリューチェーンが柔軟に再構築できたとしたらどうなるだろう？

例えば既存のバリューチェーンの一部から新たなバリューチェーンが枝分かれし、これまでサービスが行き届いていなかった人達に向かってvalue chainが伸びていくような仕組みを作ることができないだろうか？

これまでのように大きな組織が一部の工程を占有するような状態から、大小さまざまな組織が編み目のように張り巡らされたバリューチェーンを構成し、その時々で変化するニーズに合わせて自在に形を変えていく状況になれば、それだけ多種多様なニーズにリーチするバリューチェーンを構築することができるため、多種多様なスキルをもった人達が活躍できる世の中になるのではないだろうか？

3. 問題の解決策

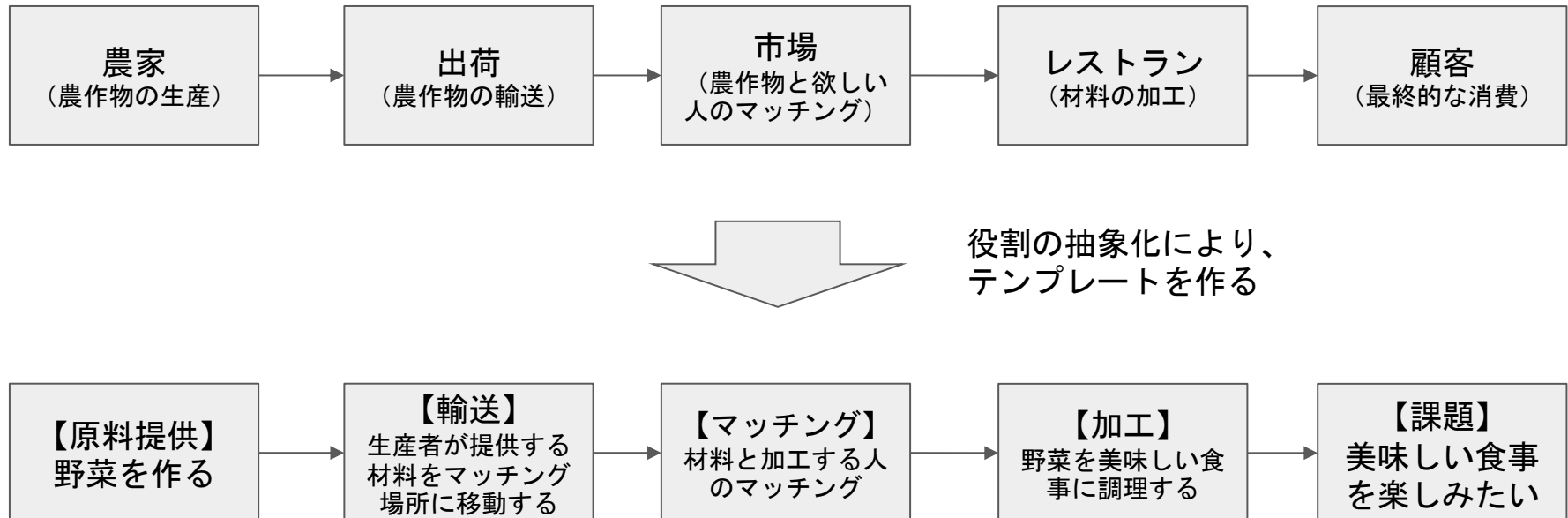
既存のバリューチェーンは、顕在化した課題に対して解決手段を提供するためのものである。

既存のバリューチェーンを参考に、バリューチェーンを構成する要素と解消している課題の種類を抽象化することでバリューチェーンのテンプレートを作ることができないだろうか？

まだ解決されていない課題に対してバリューチェーンのテンプレートを当てはめ、各要素を担う組織か個人のテンプレートを入れ、後に説明するスキル行使や備品の使用と交換できるトークン（FT）をテンプレートに入れることでバリューチェーンを実装する。

3-1. 既存のバリューチェーンをベースに テンプレートを作る

美味しい食事を楽しみたい、
というニーズを満たすため
のバリューチェーン



3-2. ニーズの満たし方（パターン1）

バリューチェーンテンプレートで枠組みを作る

【課題】
多少、高額なお金をだ
してもよいから、美味
しい中華料理が食べ
たい

課題の抽象化



ここに入る適切なバリューチェーンテンプレートは???

【課題】
美味しい食事
を楽しみたい

バリューチェーンテンプレ
ートを適用する



【原料提供】
野菜を作る

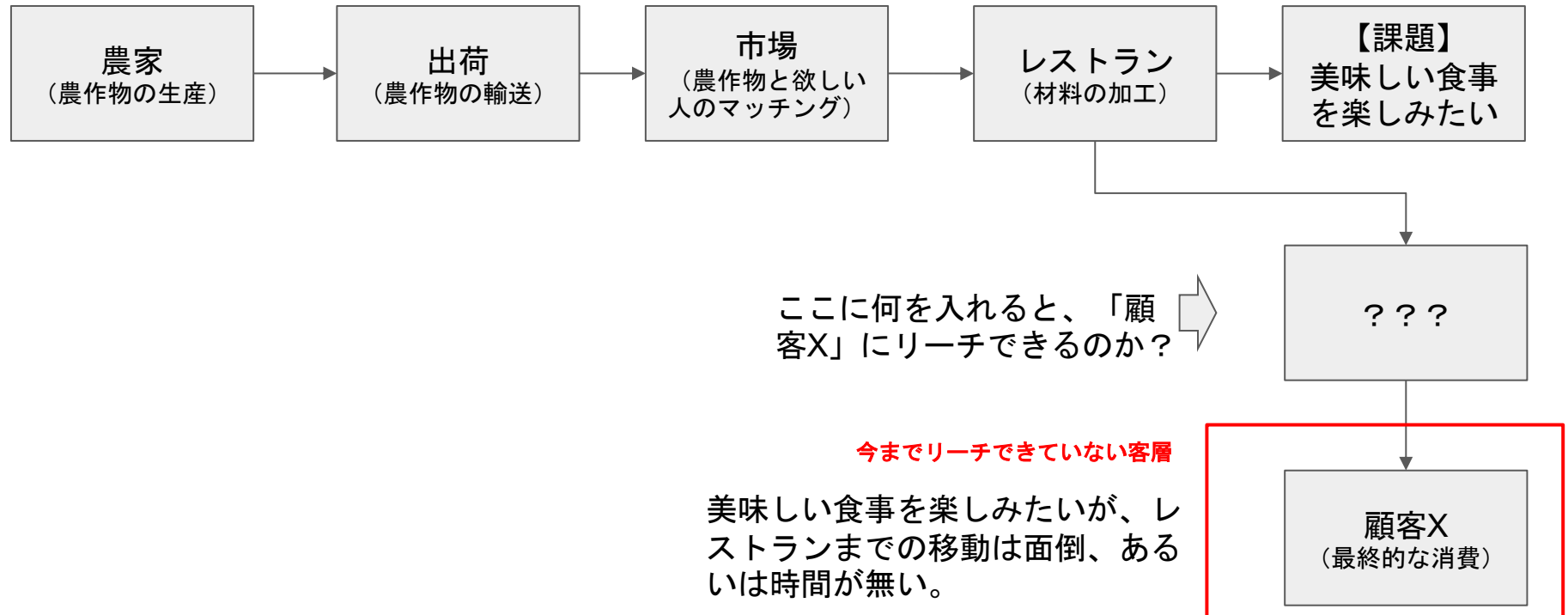
【輸送】
生産者が提供する
材料をマッチング
場所に移動する

【マッチング】
材料と加工する人
のマッチング

【加工】
野菜を美味しい食
事に調理する

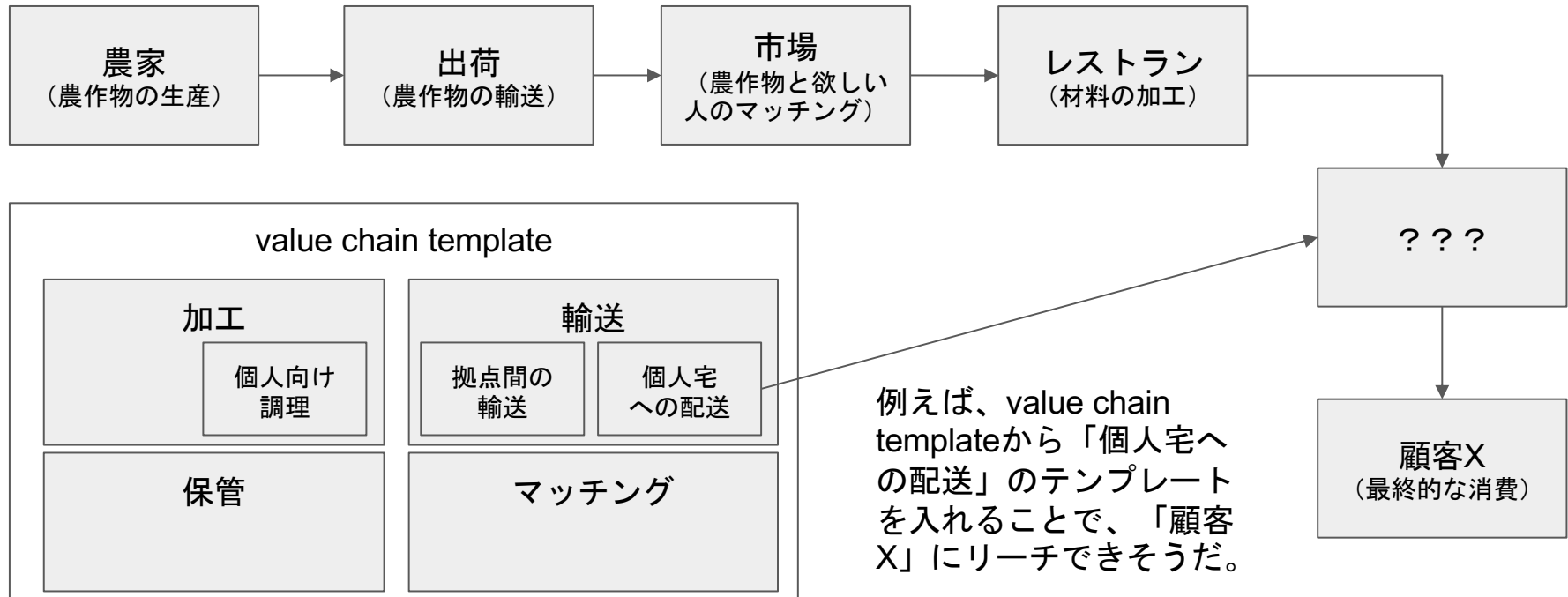
【課題】
美味しい食事
を楽しみたい

3-3. ニーズの満たし方（パターン2） 既存のバリューチェーンから枝分かれする

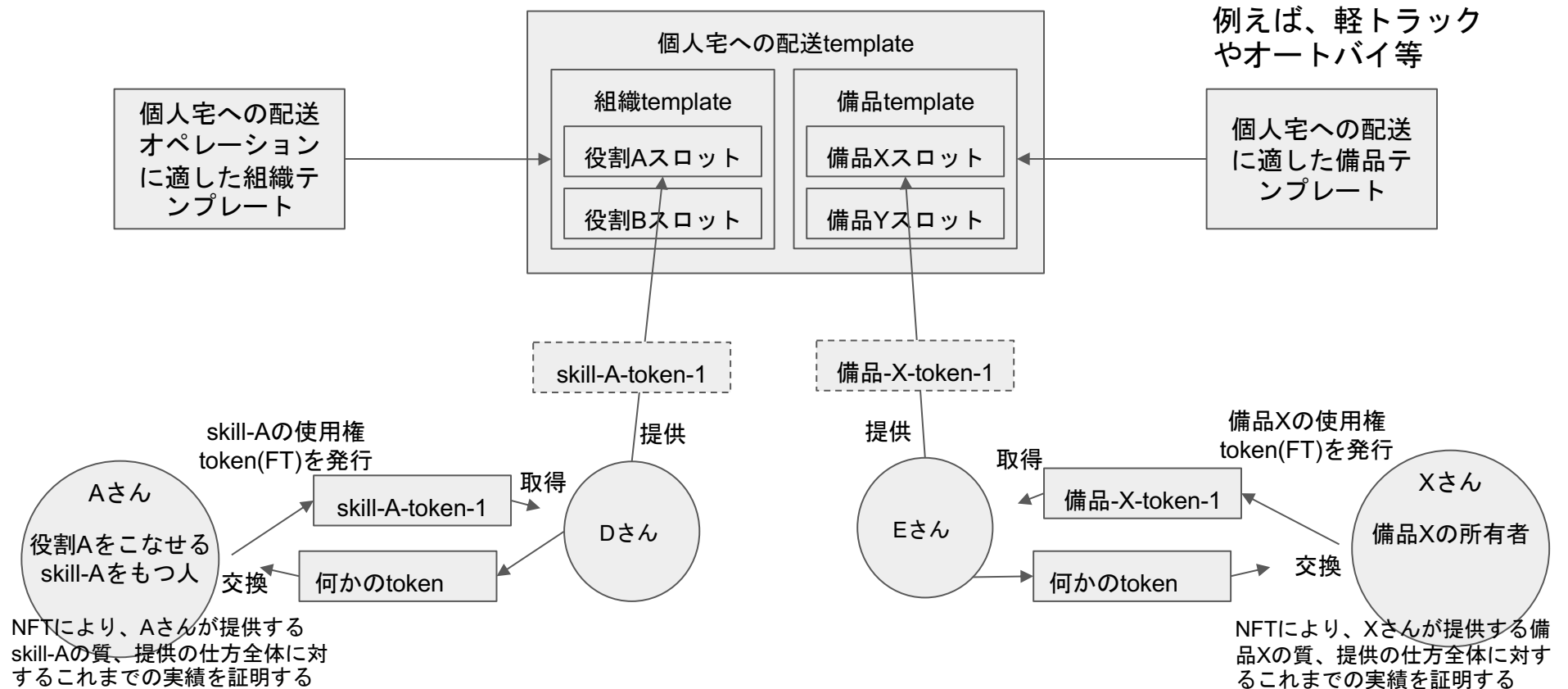


4. バリューチェーンテンプレートの中身を実装する

「3-3. ニーズの満たし方（パターン2）」の実装方法を考える



4-1. バリチェーンテンプレートの中身を実装



Appendix

バリューチェーンテンプレートの構成要素

例えば以下のように、そのカテゴリーにおいてよく使われる軸や手法などをテンプレートとして備えておくと、作る手間の削減、後工程で必要とされるスペックの明確化ができそう。

提供（少量） ←————○————→ 提供（大量）

個別化 ←————○————→ 定型化

手法の選択

A

B

C

.....